

【 墨田区 】 胃がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

| | |
|--------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（胃部X線検査） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|--------------------------|
| 対象年齢以外の実施 | 35～39歳 |
| 左記以外の検査の実施 | ペプシノゲン検査及びヘリコバクターピロリ抗体検査 |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|--------|--------|---------|
| 該当年齢の人口 | 68,025 | 72,048 | 140,073 |
| 【東京都調査による対象者率（区部）：60.5%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 1,420 | 1,973 | 3,393 |

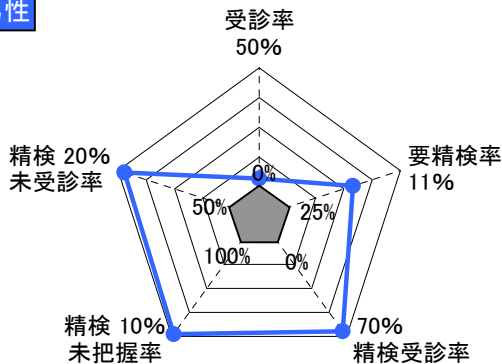
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | 一部該当 |
| 過去3年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

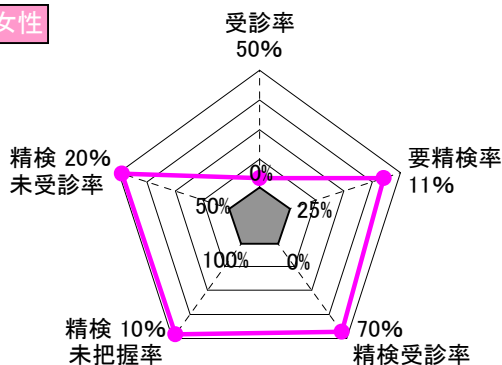
<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 3.5% | 4.5% | 4.0% |
| 要精検率 | 11%以下 | 16.9% | 13.1% | 14.7% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 66.3% | 65.1% | 65.7% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 12.1% | 14.0% | 13.1% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 21.7% | 20.9% | 21.3% |
| 陽性反応適中度 | 1.0%以上 | 3.8% | 1.2% | 2.4% |
| がん発見率 | 0.11%以上 | 0.63% | 0.15% | 0.35% |

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

<精検未受診率>

精検未受診率が高いため、精検受診勧奨を行うなど精検未受診者を減らす取組が重要です。

【 墨田区 】 肺がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

| | |
|---------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|--------|--------|---------|
| 該当年齢の人口 | 68,025 | 72,048 | 140,073 |
| 【東京都調査による対象者率（区部）：66.6%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 337 | 352 | 689 |

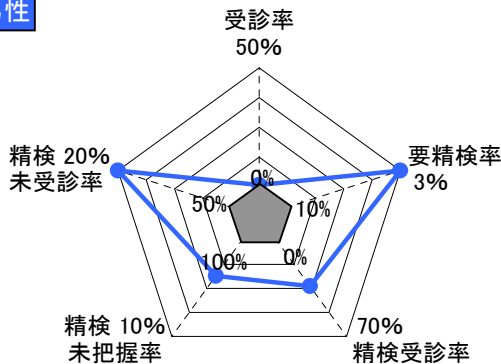
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去3年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

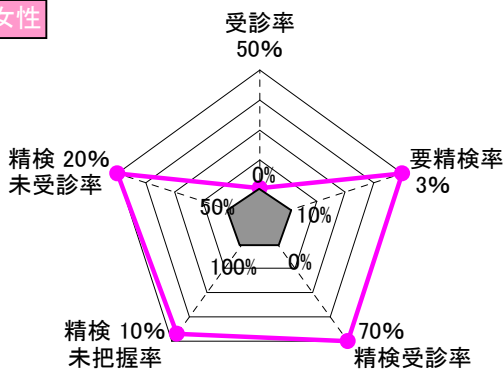
<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 0.7% | 0.7% | 0.7% |
| 要精検率 | 3%以下 | 0.9% | 1.7% | 1.3% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 33.3% | 83.3% | 66.7% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 66.7% | 16.7% | 33.3% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 陽性反応適中度 | 1.3%以上 | 0.0% | 16.7% | 11.1% |
| がん発見率 | 0.03%以上 | 0.00% | 0.28% | 0.15% |

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【 墨田区 】 大腸がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

| | |
|------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（便潜血検査（二日法）） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|--------|
| 対象年齢以外の実施 | 35～39歳 |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|--------|--------|---------|
| 該当年齢の人口 | 68,025 | 72,048 | 140,073 |
| 【東京都調査による対象者率（区部）：66.3%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 7,336 | 11,340 | 18,676 |

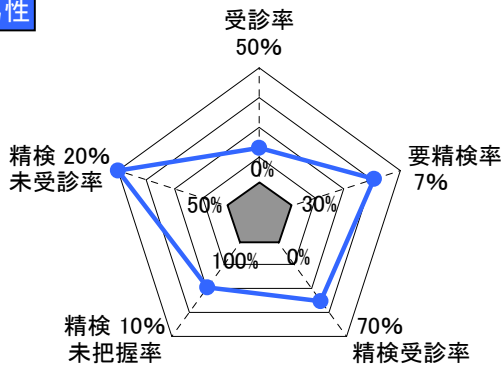
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | 一部該当 |
| 過去3年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

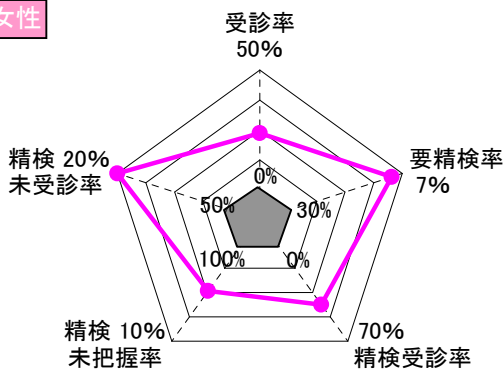
<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 16.3% | 23.7% | 20.1% |
| 要精検率 | 7%以下 | 12.3% | 9.1% | 10.4% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 44.1% | 43.7% | 43.9% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 55.9% | 56.3% | 56.1% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 陽性反応適中度 | 1.9%以上 | 3.1% | 3.7% | 3.4% |
| がん発見率 | 0.13%以上 | 0.38% | 0.34% | 0.35% |

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんでなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検結果が把握されておらず、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考に問題点を整理し、早急に精密検査結果を把握できる体制を検討してください。

【 墨田区 】 子宮頸がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（20歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（細胞診） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|----|---------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 108,553 | |
| 【東京都調査による対象者率（区部）：63.7%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 11,314 | |

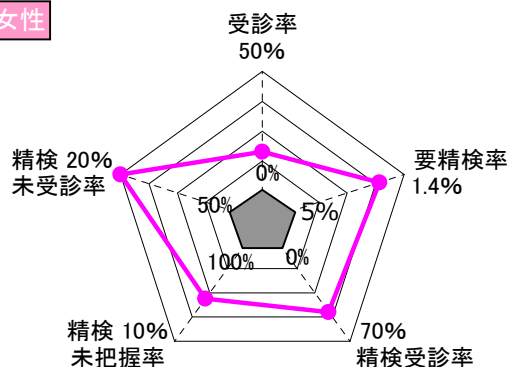
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | 一部該当 |
| 過去3年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 16.4% | |
| 要精検率 | 1.4%以下 | | 2.2% | |
| 精検受診率 | 70%以上 | | 48.8% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 49.6% | |
| 精検未受診率 | 20%以下 | | 1.6% | |
| 陽性反応適中度 | 4.0%以上 | | 0.8% | |
| がん発見率 | 0.05%以上 | | 0.02% | |

女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考に問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

【 墨田区 】 乳がん検診 平成24年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

| | |
|--------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（視触診及びマンモグラフィ） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|----|--------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 72,048 | |
| 【東京都調査による対象者率（区部）：72.3%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 9,198 | |

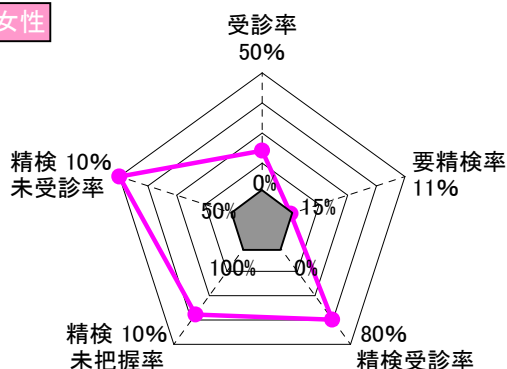
<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | 一部該当 |
| 過去3年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 17.7% | |
| 要精検率 | 11%以下 | | 15.8% | |
| 精検受診率 | 80%以上 | | 59.5% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 37.7% | |
| 精検未受診率 | 10%以下 | | 2.8% | |
| 陽性反応適中度 | 2.5%以上 | | 1.6% | |
| がん発見率 | 0.23%以上 | | 0.25% | |

女性



【評価結果】

<受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にし、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にし問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。